

年 月 日 /

学校 年 組 番 なまえ

2024年 12月 29日付

桜の管理「弘前式」学ぶ

日立樹木医招き技能講習

全国有数の桜の名所である青森県弘前市の弘前公園で活躍する樹木医を招いた技能講習会が21日、日立市宮田町の市かみね公園で開かれた。市内で桜の保護に取り組む住民や造園業者ら約100人が参加し、「弘前方式」の管理技術や活用方法を学んだ。

市の花・桜への関心を高めてもらおうと、市きくらのまちづくり推進市民会議と市が企画した。講師を務めるのは弘前市職員で樹木医の橋場真紀子さん。約2600本の桜がある弘前公園の「桜守」として活躍している。

橋場さんは、リンゴの栽培を参考に毎年全ての木に実施している剪定と施肥、薬剤散布の三つの基本的作業を示し、土壌改良などを加えた「弘前方式」の作業内容を年間計画とともに紹介した。

技能講習は高所作業車ですながら実施。橋場さんは若返りを図る剪定法に関し「光を当てて若い枝をつくる」「成長を見越して枝の間は60センチ離す」などと助言。枝は分岐の膨らみを残して切り、芯止めの際は「切り口は残す枝と並行

に」と伝えた。施肥や土壌改良についても、木の回りに20〜30カ所ほど深さ約20センチの穴を掘り、肥料やバーク堆肥を混ぜて埋め戻す方法を紹介。参加者は熱心に耳を傾け、同市民会議の小柳武和会長は「弘前方式の考え方や技術を日頃の活動の参考にしていきたい」と話した。

(戸島大樹)



樹木医の橋場真紀子さん(中央)から桜の管理方法を学ぶ参加者。日立市宮田町

【問1】 日立市のかみね公園で樹木医を招いて技能講習会が開かれた理由は？

【問2】 講師の橋場真紀子さんの仕事は？

【問3】 「弘前方式」とは？



よ
読めない文字は、かざくや、ともだちにきいてみてね